

平成 23 年 4 月 1 日  
株式会社コミュニューチャ

インターネット経由で安全に各種ユーザ機器の遠隔機器監視を行う  
「ASP サービス」開始のお知らせ

株式会社ミライト・ホールディングスの事業会社である株式会社コミュニューチャは、株式会社日新システムズ（本社：京都市、代表取締役社長：竹内 嘉一、以下日新システムズ）が提供する、米国 LANTRONIX 社（以下 LANTRONIX 社）の仮想デバイスネットワーク（VDN）を構築することにより、遠隔機器監視 ASP サービスである「MSP」（マネージド・サービス・プロバイダー）として、インターネット経由で様々なユーザ機器を監視するためのサービスを開始致しました。

「MSP」は、スイッチ、ルータ、サーバ等のネットワーク機器の他、RS232C/422/485 通信による各種ユーザ機器の状態監視などを、エンドユーザのファイアウォールの設定を変えことなく実現するメンテナンスサービスです。

「MSP」を利用することで、次のようなニーズに応えることが出来るようになります。

- (1) インターネット経由での安全な監視、保守、各種データ収集、メンテナンスサポートが可能になります。
- (2) 24 時間 365 日の保守が可能な、コミュニューチャシステムサポートセンタがシステムを運営しているため、安定したサービスが提供可能です。
- (3) 自社製品の保守メンテナンス網の構築、全国的なサービス展開が簡単にスタート可能です。

また、LANTRONIX 社の VDN を使うことによるメリットは、以下の通りです。

- (1) インターネットを介して、遠隔地の PC の操作やシリアル機器のデータ収集などが簡単に実現可能です。
- (2) ルータ・ファイアウォールの設定変更は必要ありません。
- (3) 専用装置間の通信は高度な暗号化が実施されているため、安全な通信が可能です。

この MSP サービスは、産業機器メーカーが自社製品の保守メンテナンスとして利用することや、ビル・工場の稼働状況の管理、省電力管理のためのデータ収集など、幅広い分野において初年度 50 件以上の導入を見込んでいます。

詳しくは（ <http://www.commuture.com/business/solution/msp.html> ）をご覧ください。

本件に関するお問い合わせ先：[m-sp-info@commutur.com](mailto:m-sp-info@commutur.com)

■ 日新システムズについて

日新電機株式会社（東証、大証 1 部上場）の全額出資子会社である日新システムズは、組込みシステム開発のインテグレータとして“プロフェッショナルサービス **Plus!**”を掲げ、組込みのリアルタイム制御技術、ネットワーク分野の高い技術を共存させた新たなサービスを提供する企業です。組込みソフトウェア開発の技術力としては、**OS** のカスタムボードへのポーティング、デバイスドライバ開発、アプリケーション開発を得意としています。また、米国 **LANTRONIX** 社と業務提携を行い、シリアルイーサネット変換器である組込みタイプの「**XPort**」シリーズ、外部接続タイプの「**UDS**」シリーズ、小型リモート **KVM** 「**Spider**」などの販売やカスタマイズも行っています。

日新システムズのホームページ <http://www.co-nss.co.jp/>

以上